

日南町の公共交通について考える

公共交通の現状を知る、課題解決と持続可能な公共交通を目指して

限りある財源で持続可能な

運行形態を目指して

平成16年10月、町営によるバス運行が開始され、今年度で14年が経過しました。自家用車の普及、人口減少を背景に年々利用者も減少していきながら、限りある財源をやりくりしながら町営バスは運行しています。

町営による運行開始からこれまでにデマンドバス、巡回バスの導入など、様々な取り組みを行ってきました。近年では、平成27年度に実施した公共交通の調査結果を基に、平成29年4月に運行形態の大幅な改正を行い、運行ダイヤの見直し、車両の



▲通院、買い物、通学など、地域の生活を支える町営バス。今後も利用しやすく、持続可能な運行形態を目指していきます。

小型化、タクシー助成制度の導入、利用が少ない便を減便するなどの政策を展開し、現在まで実証運行してきました。利用者の皆様すべてが満足できる運行には至っていませんが、交通手段を持たない方や、小中学生の通学を確保していくため、また将来にわたって限られた予算の中で持続可能な公共交通を目指す為、日南町の公共交通の現状とこれからについて考えていきます。

運営状況は年々厳しく

現在の日南町の公共交通事業は毎年約7千万円の経費を支出しており、その財源は補助金、交付税、起債借入れ、そして約2千3千万円の一般財源となっています。対する収入は過去5年で平均約7百万円、人口減少に伴い年々減少しています。(図1) また、町営バスの年次別利用者数は減る一方で、ひとり1回の乗車にかかる運行経費は増加傾向にあります。(図2) そういった中でも、交通手段を持たない方にとって欠かすことの出来ない町営バスは、今後も維持していかなければ

なりません。

これまでのデータから、公共交通

町営バス年次別運行経費（車両購入費除く）

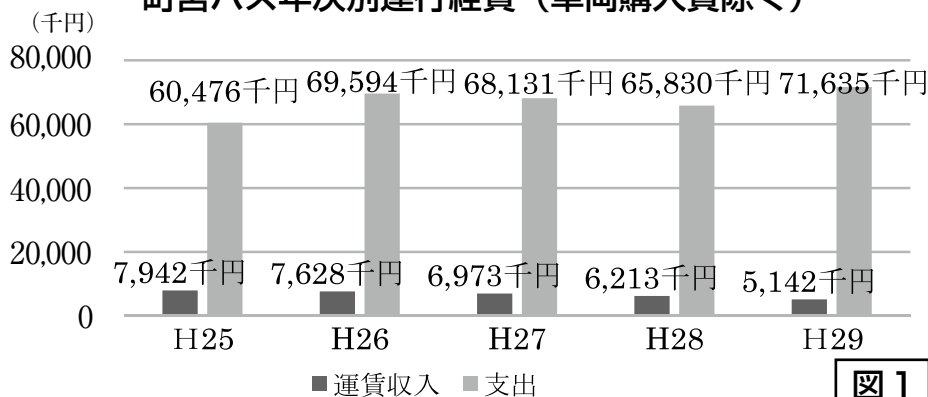


図1

町営バス年次別利用者数と1人1回の乗車にかかる運行経費

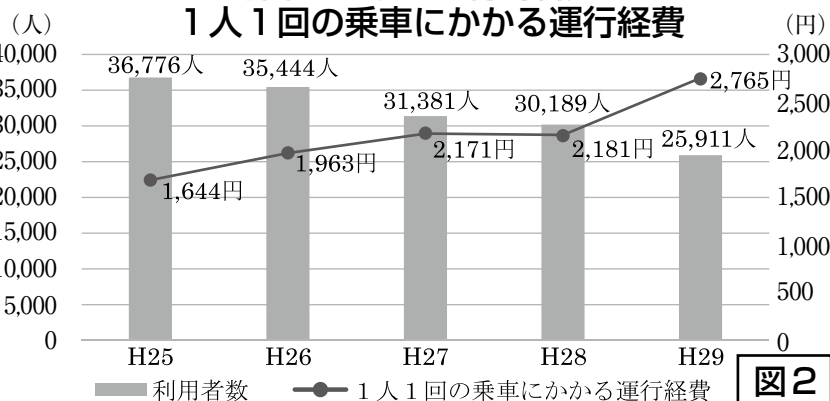


図2

H29年度の1人1回の乗車にかかる経費は2,765円。運賃200円ということは2,565円が税金でまかなわれていることになります。



の現状は多くの課題を抱えていることが分かります。次ページは課題解決に向けた様々な取り組み状況を紹介していきます。

